

KIJIMA ORIGINALPARTS TECHNICAL SERVICE MANUAL



KAWASAKI 2022y～ Z650RS エンジンガード

<商品番号：405-245>

【取扱説明書】



取付け前に必ずお読みください。

工数:0.7H

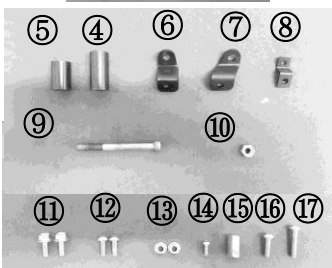
このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
作業にあられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- ・取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- ・道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- ・運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- ・本取付け説明書に則った取付けを行う。
- ・本製品への加工を加えない
- ・不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

《部品構成内容》



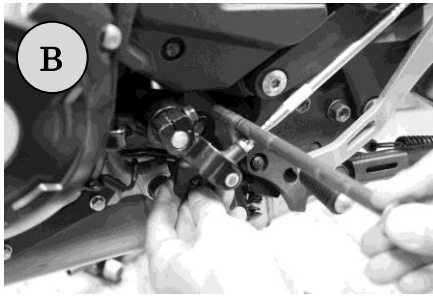
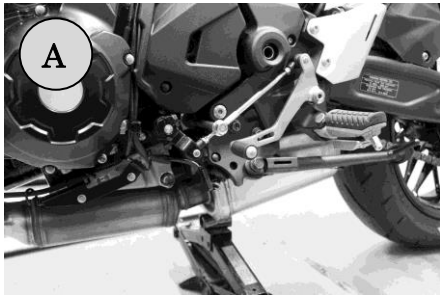
| 部番 | 品名 | 個数 | 部番 | 品名 | 個数 |
|----|---------------------|----|----|---------------|----|
| ① | 本体 右側 | 1 | ⑩ | ロックナット M10 | 1 |
| ② | 本体 左側 | 1 | ⑪ | フランジボルト M8×20 | 2 |
| ③ | ジョイントパイプ | 1 | ⑫ | ボタンキャップ M8×20 | 2 |
| ④ | カラーR | 1 | ⑬ | フランジナット M8 | 2 |
| ⑤ | カラーL | 1 | ⑭ | ボタンキャップ M6×15 | 1 |
| ⑥ | ベースステーR | 1 | ⑮ | 高ナット | 1 |
| ⑦ | ベースステーL | 1 | ⑯ | ボタンキャップ M8×25 | 1 |
| ⑧ | ホーンステー | 1 | ⑰ | ボタンキャップ M8×35 | 1 |
| ⑨ | エンジンマウントボルト M10×180 | 1 | | | |

..... 本製品取付けに当たっての注意点

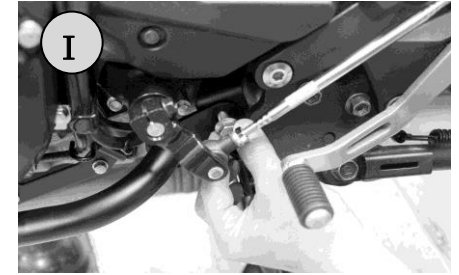
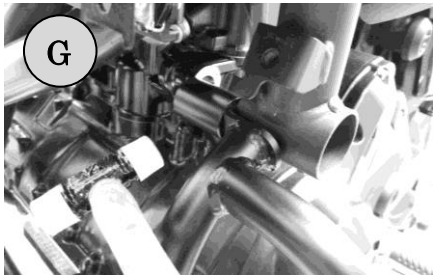
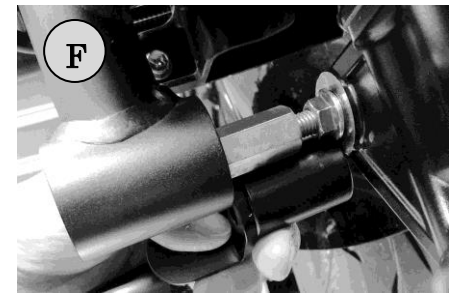
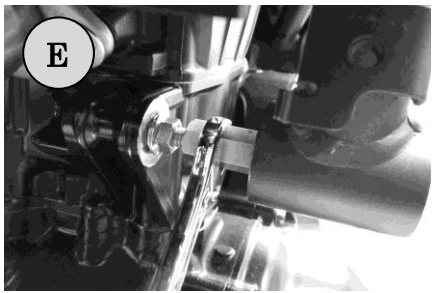
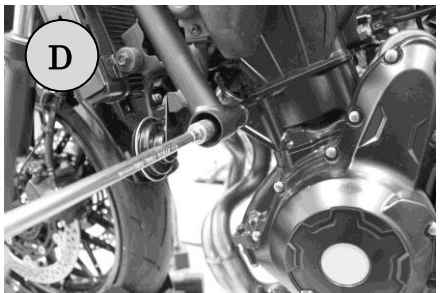
- ※本製品は KAWASAKI 2022y～Z650RS (8BL-ER650M) に適合します。
- ※本製品は軽微な転倒でエンジンへのダメージを最小限にする事を目的としております。
転倒の条件/程度によっては、その限りではありませんので予めご了承ください。
- ※作業の前にエンジンやマフラーが冷えている事を確認して下さい。走行直後などでエンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行うと火傷の原因となり大変危険です。
- ※作業中は、必ずメインキーをOFFにする事。
- ※作業中に車体が倒れたりして危険ですので、作業は水平な場所で車体を安定させて行う事。
- ※純正部品の取外し／取付け、ボルト／ナットの締め付けについてはメーカー発行サービスマニュアルに基づいて、確実に行ってください。
- ※走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、異常箇所を点検して下さい。
- ※安全快適なライディングの為に、定期的に増し締めするなどの点検整備を必ず実施して下さい。
- ※取り扱い説明書は大切に保管し、本製品もしくは本製品を装着した状態で車両を譲渡などする場合は、この取り扱い説明書も一緒にお渡し下さい。

<取付方法>

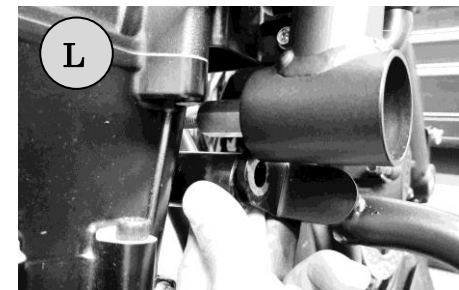
※本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。



- 1、車体を安定させてエンジンが動かないようにジャッキ等を当てて安定させます。(写真A参照)
- 2、エンジン下側の純正エンジンマウントボルトを外して付属エンジンマウントボルト⑨、ナット⑩を使用して左側にベースステー⑦右側にベースステー⑥を挟んで仮止めします。(写真B/C参照)

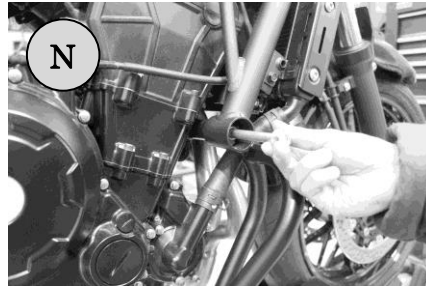
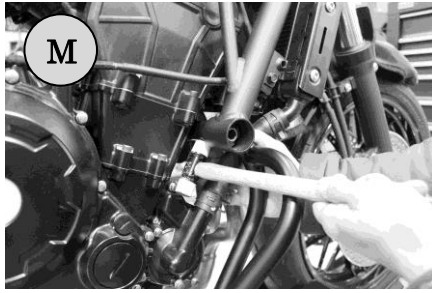


- 3、車体左側の純正ホーンステー、エンジンハンガーボルトを外します。(写真D参照)
- 4、付属の長ナット⑮/ボルト⑯/ナット⑬を組み、ボルトの頭をエンジン側にしてフレームとの間に置いて緩める方向で隙間を作り、カラー⑤と本体②を挟みます。(写真E/F参照)
- 5、挟み込んだカラー⑤と本体②をプラハンなどで位置出しを行って純正ハンガーボルトで仮止めします。(写真G/H参照)
- 6、予め仮止めしていたベースステー⑦と本体②を付属ボルト⑪で仮止めします。(写真I参照)



- 7、車体右側エンジンハンガーボルトを外します。(写真J参照)
- 8、付属の長ナット⑮/ボルト⑰/ナット⑭を組み、ボルトの頭をエンジン側にしてフレームとの間に置いて緩める方向で隙間を作り、カラー④と本体①を挟みます(写真K/L参照)

※部品 長ナット⑮/ボルト⑯/ボルト⑰は工具として使用。ここからは使用しません。

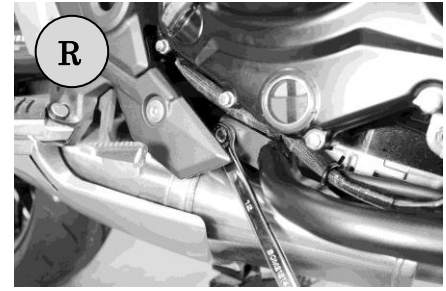
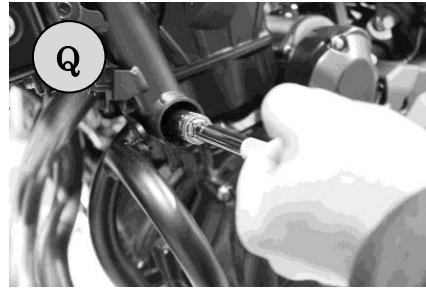
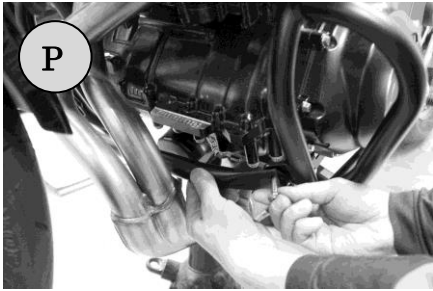


9、挟み込んだカラー④と本体②をプラハンなどで位置出しを行って純正ハンガーボルト/ナットで仮止めします。

(写真M/N参照)

10、予め仮止めしていたベースステー⑥と本体①を付属ボルト⑪で仮止めします。

(写真O参照)



11、左右のガード本体①/②とジョイントパイプ③を付属ボルト⑫/ナット⑬で仮止めします (写真P参照)

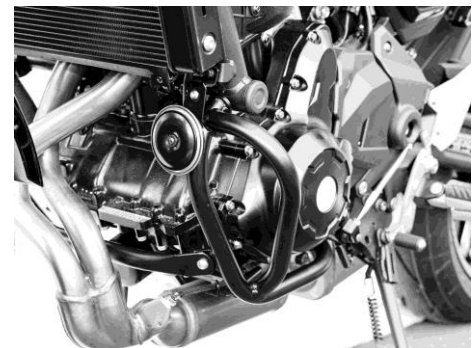
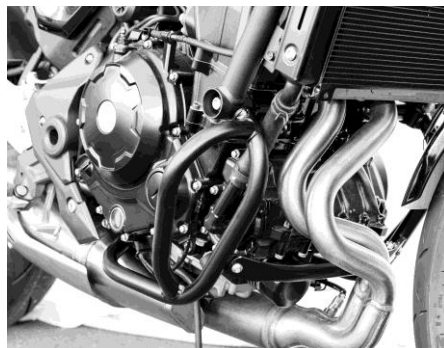
12、仮止めしたラジエーター下のエンジンマウントボルト、本体①/②とベースステー⑥/⑦を繋ぐ付属ボルト
ベースステー⑥/⑦をとめている付属エンジンハンガーボルト⑨、ジョイントパイプ固定ボルトの順番で
本締めを行っていきます。

(写真Q/R/S参照)

13、純正ホーンASSYを付属ボルト⑭を使いホーンステー⑧に取り付けて純正ボルトを使い車体に組付け
ます。

(写真T/U参照)

<取り付けイメージ>



モーターレク総合開発メーカー

株式会社

キジマ

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMACo., Ltd. www.tk-Kijima.co.jp

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL. 03-3897-2167 FAX. 03-3897-2138